

2020 年度業務実績報告書

提出日 2021 年 1 月 20 日

1. 職名・氏名 准教授・森英樹2. 学位 学位 博士（文学）、専門分野 英語学、授与機関 大阪大学、授与年 2008

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 英語 I（1 単位、毎学期開講）1 年生、2020 年度（前期 3 コマ／後期 1 コマ）	
②内容・ねらい 英語 I のねらいは、身近なトピックの英文を使って英語の知識の確認と定着を図るとともに、基本的な単語の習得と英文読解を通して視野を広げることである。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 習熟度に応じて英文や課題の内容・レベルを変えた。また 3 回ごとに、単語と関連テーマでの自由英作文の課題を課して理解の定着を図った。	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 英語 IIb（1 単位、毎学期開講）1・2 年生、2020 年度（前期 0 コマ／後期 1 コマ）	
②内容・ねらい 英語 IIb のねらいは、読解・聴解・英作文・文法・語彙などに焦点をあてた演習を行い、各自が苦手とする領域を克服することである。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 英語そのものの関心を高めるため、各回テーマを 1 つに絞って、なじみのある表現や用語の由来を説明する英文を取り上げた。また、まとめの課題によって理解の定着を図った。	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 英語特論（2 単位、毎学期開講）1 年生以上、2020 年度（前期 1 コマ／後期 1 コマ）	
②内容・ねらい 英語特論のねらいは、様々なジャンルの英文記事を通して、英文法や言語学の知識に基づき、文の構造を正確に理解しながら英文を読み解く力を身につけることである。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 前期は、英語を通して視野が広げられるような言語・文化・社会に関わる英文記事を使い、後期は自らの英語学習と関連づけられるような外国語学習・習得の英文記事を選んだ。	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 英語基礎（1 単位、毎年開講）1 年生、2020 年度（前期 1 コマ）	
②内容・ねらい 英語基礎のねらいは、基本的な語彙や構文を総復習しながら、大学での英語学習に必要な英語基礎力を定着させることである。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 基本事項の解説と復習を重点的にを行い、毎回の問題演習と 3 週ごとのまとめ課題によって、継続的な学習を習慣づけた。また英単語を反復練習できる教材も準備した。	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 導入ゼミ（1 単位、毎年開講）1 年生、2020 年度（前期 1 コマ）	

②内容・ねらい 導入ゼミ（ことばの仕掛け）のねらいは、プレゼンの仕方やレポートの書き方など大学生活に必要なアカデミックスキルを習得することである。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 身近な言葉遣いについて考察が深められるよう、毎回異なるテーマを提示した。そして学期末には、言語について関心のあるテーマで、プレゼンとレポートの課題に取り組ませた。
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 言語学（2単位、毎年開講）1年生以上、2020年度（後期1コマ）
②内容・ねらい 言語学のねらいは、日本語や世界諸言語のデータに触れながら、言語学の考え方や分析方法に慣れ親しみ、言語学的な観点から、母語を客観的に考察する視点を持つことである。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 授業毎にワークシートと論述形式の課題に取り組ませ理解を促した。その上で、授業内容の理解に基づく思考力を問う課題を定期的に課した。
(2)その他の教育活動
内容

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
①著書	
1. 『英語学の深まり・英語学からの広がり』（分担執筆）「日英語における命令形の具現化―視点移動の可能性」233–244, 2020 年, 英宝社.	
	【 1 本】
②学術論文（査読あり）	
	【 本】
③その他論文（査読なし）	
	【 本】
④学会発表等	
	【 件】
⑤その他の公表実績	
	【 本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	

5. 地域・社会貢献活動

[illegible]

6. 大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
・入試制度検討委員会（H31.4～現在に至る） ・学教 C 教務・カリキュラム委員会（H31.4～現在に至る） ・Web 授業 WG（R2.4～現在に至る）
(3)学内行事への参加
(4)その他、自発的活動など
・非常勤講師（英語 IIa/b・基礎日本語担当）の取りまとめ（H30.1～現在に至る） ・LEAP ウェブサイトの作成・管理（H29.1～現在に至る）